

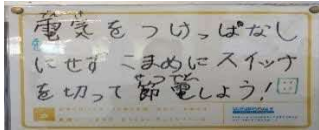
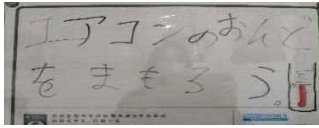
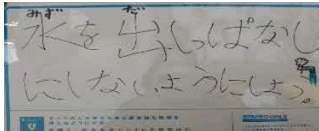


令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：上天草市立阿村小学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>児童集会での発表</p>	<p>1 ISO宣言</p> <p>児童集会でISO宣言についての発表を行い、児童や職員が環境ISOを意識して生活できるようにした。</p> <p>児童の宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを減らします。ゴミを見つけたら、進んで拾います。 ・電気の消し忘れ0を目指します。 ・節水を心がけます。 <p>（うがいはコップ1杯の水で行い、雑巾はバケツの水で洗います。）</p> <p>職員の宣言項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷や裏紙の再利用を実践します。 ・電気はこまめに消します。 ・冷房の設定は、25℃～28℃にします。 ・暖房は気温17℃以下で使用し、20℃に設定します。
行動	 <p>ゴミの分別</p>    <p>節電・節水（SDGs）</p>	<p>1 児童の取組</p> <p>ア ゴミの分別</p> <p>各教室には、ゴミ箱を3つ（燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、プラ）設置している。児童からは、「このゴミは燃やせるゴミでいいですか。」「ビニール袋はプラですね。」とゴミの分別を意識した質問が出るようになり、ゴミの分別に対する意識が高まっている。また、毎週金曜日には、環境委員会の児童がゴミの回収を行い、きちんと分別されているかを確認して、必要に応じて呼びかけをするようにした。</p> <p>イ 節電・節水</p> <p>環境委員会で、ISO宣言の意識を高めるため、学期ごとに数回は呼びかけたり、企画委員会と一緒にSDGsの取組と関連させてポスターを制作したりした。</p> <p>節電については、「エアコンの設定温度を守ろう」「教室を使わないときには電気を消そう」、節水については「雑巾はバケツの水で洗おう」「うがいはコップ1杯の水でしよう」といったメッセージやポスターで呼びかけたり、書いたりした。</p> <p>ウ ペットボトルキャップの回収</p> <p>ゴミの削減とも関連させ、環境委員会で呼びかけをし、学校全</p>



ペットボトルキャップの回収
(今年度は2回 回収する)

ビーチクリーン活動



シードーナツのスタッフの方と一緒に



集合写真



師弟同行の清掃時



用紙の再利用

体でペットボトルキャップの回収を行っている。いつでも回収できるように、空き缶回収箱の横に入れ物を設置している。集計する際に委員会の児童から「すごくたくさん集まりよかったね。」という声や、「世界の子どもたちのポリオワクチンとして、役にたってほしいな。」などの感想があった。

4月から1月現在までの回収量は、約70キログラム近くあった。

エ 縦割り班掃除

2学期より毎週水曜日に、縦割り班掃除を行っている。各縦割り班で配当された場所を掃除し、班ごとに振り返りを行っている。異学年が一つの班になって掃除を行うことで、上級生が下級生のお手本となって掃除する姿や、下級生が上級生のよさを真似しようとする姿、みんなで協力する姿が見られた。

オ ビーチクリーン活動

今年度より海の日に合わせて地域の海岸清掃をする活動に取り組んだ。その際、松島町のシードーナツ水族館のスタッフの方たちや松島町肥後銀行の方たちと一緒に燃えるゴミ、燃えないゴミに分別しながら活動することができた。自分たちが生活している地域の清掃活動を行うことで、環境保全の意識を高めることができた。活動後は、市の方で回収をしていただいた。児童の感想では「自分たちの地域の海をきれいにすることができてよかった。」「こんなにゴミが落ちているとは思わなかった。自分たちはポイ捨てをしないようにしていきたい。」などの感想がでた。

2 職員の取組

ア 師弟同行の清掃活動

職員も児童と共に清掃活動に取り組んでいる。児童に清掃の仕方を指導しながら、環境美化に努めている。

イ 職員作業


夏期休業中の時間を使って、職員作業を行った。担当箇所の振り分けをし、清掃と不要な物の分別、処分を行った。再利用できる物は、修理して活用するようにしている。

ウ 用紙の再利用

印刷室にリサイクル紙（裏紙再利用）のコーナーを設置し、職員に配布する資料などは、できるだけ裏紙を使用し、経費削減に努めている。整理する場所にはサイズごとに見出しをつけどのサイズがどこにあるのかをわかりやすくしている。

エ 消灯、節電の励行

教室を出る際には、声をかけ合いながら節電に努めた。

<p>記録</p>	 <p>I S Oチェック記録</p>	<p>1 児童による記録</p> <p>環境委員会の取組として、環境・I S Oチェックやペットボトルキャップ回収のチェックを行った。活動後は、結果を集会や放送で報告した。</p>
<p>見直し</p>	<p>1 節水について</p> <p>昨年度比3%減を目標に掲げ、取り組んできた。感染症予防のためのうがい・手洗いの必要性和節水の意識を併せて指導する必要があった。</p> <p>また、「掃除の時はバケツの水で雑巾を洗うこと」、「歯みがきはコップ一杯の水で口をすすぐこと」の2点を明確にして全児童に意識化を図った。今後はさらに継続的な呼びかけをして、全職員で共通理解・共通実践を行っていく必要がある。</p> <p>2 節電について</p> <p>各教室のエアコン利用について、感染症対策を考えた取り組みとしないといけない。常に換気をした状態でエアコンを稼働させることの必要性を児童に話し、節電と併せて指導を行ってきた。</p> <p>「冷房は25℃～28℃に設定する」「暖房は17℃以下で使用する」を教室に掲示してあるので教室のエアコンの設定温度を統一することも大切である。各教室に室温計を設置してあるので、職員が確認をしてエアコンを利用するようにしている。特別教室を含め、電灯のこまめなON・OFFの徹底による習慣化も確実に定着している。今後も継続して節電に努めていきたい。</p> <p>3 ゴミの分別について</p> <p>ゴミの分別に対する児童の意識はとて高くなってきた。他のクラスのゴミと合わせてゴミを満タンにしてから回収場所に出すようにした。</p> <p>今後もゴミ袋の使用の仕方について考えながら、省資源に力を入れていきたい。</p> <p>学校におけるゴミ出しを学期に2～3回程度行って、環境整備に努めた。危険箇所の確認や修理修繕のためにも「美しい環境作り」は大切である。</p> <p>4 全体を通して</p> <p>環境委員会の児童を中心に、活動のテーマや内容を吟味・精選して、無理なく継続した活動をするに努めた。今年度の成果と課題を次年度の取組に確実に生かすことが大切である。</p>	

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>【児童の取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境委員会の児童が中心となって計画をしたり呼びかけたりするなど、児童の自主性を育てることができた。 <p>【職員の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員間で共有する資料の裏紙利用については定着している。その他の印刷物もミスプリントがないように全職員で心がけている。 <p>【全体の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度はビーチクリーン活動の計画を行い実施できた。民間の方たちと一緒に環境保全について考え、環境を守っていこうとする意識の向上につなげることができた。 	<p>【児童の取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> I S O宣言についての意識は高まってきているが、進んで行動に移すという点においてはまだまだ課題がある。呼びかけや啓発をするだけでなく、P D C Aサイクルで活動を行っていく必要がある。 バケツを使って掃除をすること、石けん水で手を洗う際には、一度、水を止めることを徹底していきたい。そのためにも、委員会での呼びかけや啓発をするだけでなく、全職員でI S Oの意識を高め、学校全体で徹底して取り組むことができるようにしていきたい。 家庭と地域との連携を図っていきたい。